

都市再生整備計画 事後評価シート
柏原駅周辺地区

令和3年9月

滋賀県米原市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	滋賀県	市町村名	米原市	地区名	柏原駅周辺地区			面積	96.1ha				
交付期間	平成27年度～平成29年度	事後評価実施時期	令和2年度	交付対象事業費	0百万円	国費率	-						
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(駅前駐車場整備、多目的広場整備)										
		提案事業	—										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設(駅前駐車場整備、多目的広場整備)			削除/追加の理由		当初予定していた用地確保が困難となったため。					
		提案事業	—					削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	新たに追加した事業	基幹事業	—										
提案事業		—											
交付期間の変更	当初	平成27年度～令和元年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		平成30年12月に計画廃止							
	変更	平成27年度～平成29年度											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	指標1	イベント開催回数	回/年	3	H25	5	R1	5	○	あり	本事業(JR東海道本線駅周辺地域の活性化)を契機として、駅周辺の企業、地域住民およびまちづくり団体等の活動が活発となった。	-	
	指標2	駅の乗降客数	人/日	262	H24	262	R1	260	△	あり	本事業(JR東海道本線駅周辺地域の活性化)を契機として、柏原駅周辺の空家活用が加速化しており、駅の乗降客数の維持に繋がった。	-	
	指標3									なし			
	指標4									あり			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	その他の数値指標1	柏原自治会における空家バンク成約件数(述べ数値)	世帯	0	H25		R1	13		あり	本事業(JR東海道本線駅周辺地域の活性化)を契機として、柏原駅周辺の空家活用が加速化しており、目標達成の起爆剤になった。	-	
	その他の数値指標2								あり				
その他の数値指標3								あり					
4) 定性的な効果発現状況	本事業(JR東海道本線駅周辺地域の活性化)を契機として、駅周辺の空家活用と地域住民等によるまちづくり活動が活発となり、駅周辺ににぎわいが生まれつつある。												
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	滋賀県統計書により、毎年、駅の乗降客数のモニタリングを実施した。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も継続して実施する。				
	住民参加プロセス	米原市議会に定期的に進捗状況の報告と意見聴取を行い、整備内容に反映できるように努めた。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も継続して実施する。				
	持続的なまちづくり体制の構築	本事業(JR東海道本線駅周辺地域の活性化)を契機として、駅周辺の空家活用と地域住民等によるまちづくり活動が活発となり、駅周辺ににぎわいが生まれつつある。			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 今後も官民協働により、事業を推進する。				

様式2-2 地区の概要

柏原駅周辺地区(滋賀県米原市) 都市再生整備計画事業の成果概要										
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値		
大目標: 駅周辺地域の活性化とにぎわいづくり 目標①: 地域の歴史や文化、街並みを生かしてにぎわいを再生する 目標②: 駅の利便性向上を図る 目標③: 駅周辺におけるコミュニティ拠点の形成		イベントの開催回数	単位: 回/年	3	H25	5	R1	5	R1	
		駅の乗降客数	単位: 人/日	262	H24	262	R1	260	R1	
当初計画 柏原駅前には、時間貸し駐車場や夜間出入り可能な駐車場がなく、旅行、通勤、通学等の出発駅として利用するには不便な状況であった。そこで、交通拠点としての機能を高めるため、駅前駐車場の整備を予定していたが、当初予定していた用地が確保できなくなったことから、平成30年12月に計画を廃止した。										
まちの課題の変化		<ul style="list-style-type: none"> ・柏原駅前駐車場整備の整備が進んでいないため、駅利用者の安全性と利便性が引き続き問題となっている。 ・本事業(JR東海道本線駅周辺地域の活性化)を契機として、駅周辺の空き家活用と地域住民等によるまちづくり活動が活発となり、駅周辺ににぎわいが生まれつつある。 ・人口減少に立ち向かい、更なるまちの活性化を図るには、滋賀県唯一の交通社会資本を有する米原市の強みを最大限に活用し、米原駅にまちの核をつくり、その効果を市内各駅周辺に波及させる必要がある。 								
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)		<ul style="list-style-type: none"> ・再度、柏原駅周辺都市再生整備計画を策定する中で、駅前広場および駅前駐車場整備を行い、駅の利便性を高るとともに、官民連携による地域資源および空き家を活用した魅力の向上と、受入環境の整備を行う。 ・平成27年10月に「まち・ひと・しごとと米原創生総合戦略」、平成28年12月に「米原市都市計画マスタープラン」を策定した。これにより、米原駅周辺に都市機能を集積し、まちの核をつくるとともに、時代に合った地域の拠点づくりを進め、『コンパクト+ネットワーク』を形成することにより、市民の暮らしと持続する地域の将来を創造することを目指している。 ・平成29年6月には「米原市庁舎等整備基本計画」を策定し、米原駅東口への市役所統合庁舎の建設について、令和3年5月の供用開始を目指し、事業を進めている。また、統合庁舎と合わせて、米原駅東口周辺まちづくりを推進するため、民間企業、県、市による公民連携まちづくり協議会で、滋賀の扉(ゲートウェイ)にふさわしい都市機能の集積を進め、更なる賑わいの創出を目指しており、これらの整備を契機として柏原駅を含めた市内各駅周辺にこの効果を波及させる必要がある。 								

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		○			
B. 目標を定量化する指標		○			
C. 目標値		○			
D. その他()					

添付様式1ー② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路									
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	柏原駅前	75	駅前駐車場整備 多目的広場整備	0.0	駅前広場整備 駅前駐車場整備	平成30年12月に計画を廃止した。	平成30年12月に計画を廃止した。	○	
高質空間形成施設									
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業									
事業活用調査									
まちづくり 活動推進事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考) 関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画		
転入促進受入補助		醒ヶ井駅、近江長岡駅、柏原駅周辺	13	13	H28	H28	予定どおり完了	
空き家調査検討業務		醒ヶ井駅、近江長岡駅、柏原駅周辺	9	3	H27	H27	予定どおり完了	
体験住宅建設費補助		醒ヶ井駅、柏原駅周辺	22	20	H28	H28～H29	予定どおり完了	
にぎわいイベント推進事業(仮)		米原駅、醒ヶ井駅、近江長岡駅、柏原駅周辺	0	0	-	-	予定どおり完了	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指 標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無		
			基準 年度		基準 年度		目標 年度						あり	なし		
指標1	イベントの開催回数	回/年	計画区域内における年間イベント回数			3	H25	5	R1	モニタリング	R1	5	モニタリング	○		
										事後評価	確定見込み	○	事後評価	○		
指標2	駅の乗降客数	人/日	滋賀県統計書により、駅の乗降客数を計測			262	H24	262	R1	モニタリング	R1	260	モニタリング	△		
										事後評価	確定見込み	○	事後評価	△		
指標3										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価			
指標4										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価			
指標5										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み		事後評価			

指 標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	指標値が目標値どおりとなったため。	
指標2	指標値がほぼ目標値どおり(達成率99.3%)となったため。	
指標3		
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○ : 評価値が目標値を上回った場合

△ : 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

× : 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	単位	(参考)※1 計画以前の値 (ア)	従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
				基準年度	基準年度					
その他の数値指標1	柏原自治会における空家バンク成約件数(述べ数値)	世帯	空家バンクが保有するデータにより計測		0	H25	モニタリング	R1	13	地域コミュニティの活性化に直接影響を与える指標であるため。
							事後評価	確定見込み	○	
その他の数値指標2										
その他の数値指標3										

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

本事業(JR東海道本線駅周辺地域の活性化)を契機として、駅周辺の空家活用と地域住民等によるまちづくり活動が活発となり、駅周辺ににぎわいが生まれつつある。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
滋賀県統計書により、毎年、駅の乗降客数のモニタリングを実施した。	予定どおり実施した	○ 実施頻度：年1回 実施時期：滋賀県統計書公表時期 実施結果：採用した指標は滋賀県統計書により毎年度、数値が整理されているものであるため、モニタリングを容易に実施することができた。	今後も継続して実施する。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
米原市議会に定期的に進捗状況の報告と意見聴取を行い、整備内容に反映できるように努めた。	予定どおり実施した	○ 実施頻度：年2～3回 実施時期：通年 実施結果：事業計画について随意、米原市議会に意見聴取を行ったため、市民の意見等を整備内容に反映することができた。	今後も継続して実施する。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
本事業(JR東海道本線駅周辺地域の活性化)を契機として、駅周辺の空家活用と地域住民等によるまちづくり活動が活発となり、駅周辺ににぎわいが生まれつつある。	予定どおり実施した	○ ・まいばら協働事業提案制度 ・地域創造支援事業 ・移住定住補助金 ・体験住宅整備事業補助金 など	-	今後も官民協働により、事業を推進する。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
R3駅周辺整備事業調整会議	市土木部建設課 市土木部都市計画課 市経済環境部商工観光課 市地域振興部米原近江地域協働課	令和3年3月	市地域振興部米原近江地域協働課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2					
指標名		イベントの開催回数							
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	駅前駐車場整備	×	本事業を契機として、駅周辺の空家活用と地域住民等によるまちづくり活動が活発となった。						
	多目的広場整備	×							
提案事業									
関連事業	転入促進受入補助	◎							
	空き家調査検討業務	◎							
	体験住宅建設費補助	◎							
	にぎわいイベント推進事業(仮)	◎							

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ー：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	次期計画においても、更なる空家活用を進める。				
-------	------------------------	--	--	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標○			指標○			指標○			指標○			
指標名		駅の乗降客数												
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	
基幹事業	駅前駐車場整備	×	駅前駐車場を整備することができなかったため、指標に悪影響を与えた。	分類Ⅲ										
	多目的広場整備	×												
提案事業														
関連事業	転入促進受入補助	△												
	空き家調査検討業務	△												
	体験住宅建設費補助	△												
	にぎわいイベント推進事業(仮)	△												

※目標未達成への影響度

- ××：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	令和3年度からの次期都市再生整備計画において、駅前広場および駅前駐車場整備を行うことで、柏原駅の利便性を高るとともに、地域資源および空家を活用した魅力の向上と、受入環境の整備を行う。また、米原駅にまちの核をつくり、その効果を市内各駅周辺に波及させる必要がある。			
------------------	--	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
R3駅周辺整備事業調整会議	市土木部建設課 市土木部都市計画課 市経済環境部商工観光課 市地域振興部米原近江地域協働課	令和3年3月	市地域振興部米原近江地域協働課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
駅には時間貸し駐車場や夜間出入り可能な駐車場がなく、旅行・通勤・通学等の出発駅として利用するには不便な状況である。交通拠点としての機能を高めるため、駐車場の整備が必要である。	—	柏原駅前駐車場整備の整備が進んでいないため、駅利用者の安全性と利便性が引き続き問題となっている。	本地区は、旧中山道の宿場町であり、歴史的な街並みや建築物が数多く残されている。しかし、人口減少や空家の増加により、歴史的な街並みが荒廃しはじめている。 本事業(JR東海道本線駅周辺地域の活性化)を契機として、駅周辺の企業、地域住民およびまちづくり団体等の活動が活発となり、駅周辺ににぎわいが生まれつつある。 人口減少に立ち向かい、更なるまちの活性化を図るには、滋賀県随一の交通社会資本を有する米原市の強みを最大限に活用し、米原駅にまちの核をつくり、その効果を市内各駅周辺に波及させる必要がある。
少子高齢化による人口減少が進み、街並みのにぎわいが衰退し、空家、空き地が増加している。	空家バンクを通じて、柏原自治会に13世帯が移住されるなど、空家活用と地域住民等によるまちづくり活動が活発となり、駅周辺ににぎわいが生まれつつある。	空家、空き地の増加は進んでいるため、更なる利活用の促進が必要である。	
まちのにぎわいを取り戻すために、駅周辺を中心とした地域活動の活性化が求められている。	本事業を契機として、駅周辺の企業、地域住民およびまちづくり団体等の活動が活発となった。	該当なし	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	空家を活用した魅力の向上	次期計画において、空家を活用した魅力の向上と利用促進を図る。	空家活用支援補助金
	駅周辺を中心とした地域活動の活性化	今後も官民協働によるまちづくりを支援することにより、地域活動の活性化を図る。	まいばら協働事業提案制度 地域創造支援事業

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改善策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	柏原駅前駐車場の整備	次期計画において、駅前駐車場の整備を進め、駅利用者の安全性と利便性の向上を図る。	柏原駅前駐車場整備事業
	米原駅周辺地域の活性化	官民連携により、米原駅周辺地域の開発を進め、まちの核をつくり、その効果を市内各駅周辺に波及させる。	米原市役所統合庁舎の整備(米原駅東口) 米原駅東口周辺地域活性化事業

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

<input type="checkbox"/>	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	-	毎年データが算出できる指標を選定するとモニタリングが容易となるため、指標を設定する際には計測のことも考慮して検討することが望ましい。
	うまくいかなかった点	-	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	・各事業と関連が深い数値を目標として使用したことで、整合性を図ることができた。	・都市再生整備計画の作成時には、事後評価の実施を考慮して指標を設定する必要がある。 ・従前値の算出方法の記録を保管しておくことが必要である。
	うまくいかなかった点	-	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	・米原市議会と調整を図ることで、スムーズに事業を進めることができた。	・住民参加はまちづくり事業を円滑にする上で有効である。
	うまくいかなかった点	-	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	・既存組織を活用することで、スムーズに事業を進めることができた。	・モニタリングの実施は、事業の進捗状況を確認できて有効である。
	うまくいかなかった点	-	
その他	うまくいった点	-	
	うまくいかなかった点	-	

添付様式6ー参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

柏原駅周辺地区都市再生整備計画(令和3年度～令和5年度)

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	米原市公式ウェブサイト	R3.5.28～R3.6.11	R3.5.28～R3.6.11	郵送 ファクス	市民部 地域振興課
広報掲載・回覧・個別配布					
説明会・ワークショップ					
その他					

住民の意見	意見なし				
-------	------	--	--	--	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	—	—	—	—	—
その他の委員	—				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	—
	成果の評価	—
	実施過程の評価	—
	効果発現要因の整理	—
	事後評価原案の公表の妥当性	—
	その他	—
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	—
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	—
	フォローアップ	—
	その他	—
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	—
その他	—	—

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
米原市都市計画審議会 井口 貢 会長 (同志社大学教授)	令和3年9月2日	市土木部都市計画課 市民部地域振興課

有識者の意見	<ul style="list-style-type: none">・中山道の宿場まちという核がある。・昔ながらの駅前の要素を残しており、駅を降りた瞬間にわくわく感がある。・駅前も何らかの形で中山道を訪れた人の前奏曲となるような雰囲気づくりが必要。
--------	--